

共生社会

人に寄り添う支援技術とアバターの進化

国際連携で構築するアバター共生社会

概要

サイバネティックアバター(CA)を活用して多様な人々の社会参加を支える「アバター共生社会」の研究開発を、研究機関や企業との国際連携と、様々なステークホルダーが集う国内外のオープンラボの構築・運営によって推進し、社会実装を促進します。

特徴

- CAの社会実装に向けた国際的な実社会実証実験を、2023年11月から国内外の研究機関と連携して実施しています。2024年4月からは Dubai Future Labs (ドバイ, UAE)と共同研究契約を締結し、海外での実証も本格化しました。
- 大阪(グラングリーン大阪・大阪大学みらい創発hive内)とUAE (Emirates Towers・Dubai Future Labs 内)に開設したアバター共生社会プロジェクトのオープンラボを皮切りに、主要連携拠点でのオープンラボ構築と社会実装を促進します。
- アバター共生社会企業コンソーシアム(略称:C-CAS2、169法人会員(2025年9月末現在))とも連携し、研究、事業、社会制度の3つの観点で、CAの国際利用における可能性と実現性を検討していきます。



今後の展開

- CAの国際的な実証実験拠点を活用することで、CAの社会実装をグローバルレベルですすめ、人々が物理的な距離や時間などの制約から開放され、自在に働き、暮らしを楽しむことができる社会を目指します。

テーマ「社会課題と向き合う科学技術の最前線」との関連

- アバター共生社会プロジェクトでは、身体・認知的能力、時間や距離といった制約から人々を解放する技術・運用方法・社会制度の研究開発を進め、様々な背景や価値観を持つ人々のライフスタイルに応じた社会参画の実現を目指しています。



株式会社国際電気通信基礎技術研究所
深層インタラクション総合研究所

グローバルオープンラボ戦略室 担当 堀川 優紀子 E-Mail: horikawa@atr.jp